3月1日 火曜日 28日発行
昭和30年 西暦1955年

発行所 内外タイムス社
東京都中央区銀座西3の5
電話（代表）京橋（56）8646
（直通）販売（〃）0437 広告（〃）3995
編集局 港区芝田村町5の6
電話代表芝（43）1163番
東京振替貯金口座 170071番

内外タイムス
THE NAIGAI TIMES
第3022號（昭和24年6月27日第三種郵便物認可・昭和24年5月27日國鉄特別扱承認第232號）
（中華民國政合字第637號執照登記為第2類新聞紙類・內政內顧証報警內令警字第0136號）

あすの暦 3月1日・火 旧2月7日
日出 前 6.13
日入 後 5.35
月出 前 10.02
月入 —
満潮 前 8.40 後 11.15
干潮 前 2.35 後 3.50
（中潮）

天気予報
今晩 北の風強く曇りで東部に雨が残るが、内陸は一時晴
明日 北の風晴れたり曇り

4版

民主の第一党確定す

新政局と民主党の態度
單独内閣で進む
『保守合同』は行わぬ

総選挙の開票は廿八日も順調に進み、正午には終始トップを続けた民主党は遂に百名を突破、各党の当選、当確者の合計もほとんど同時刻に衆院定員四百六十七の過半数に達した、また国民審判の大勢も同時刻には決定し、ことに民主党の第一党は確定、第二次鳩山内閣の実現はほゞ動かぬところとなった、さらに午後二時すぎには各党の衆院新分野も決り、政局は総選挙から早くも次期政権をめぐる政局収拾工作へと激しく動いてきた

このため鳩山首相は午前九時半から小石川音羽の私邸に岸、三木松村の党三役と根本官房長官を招き政局収拾の構想について協議した結果、民主主義の原則を遵守する建前から単独内閣を組織し、政局収拾に当るとの基本方針を決定、保守合同は行わないことを再確認した、また政府民主党はあくまで第一党として政局を担当し、政局の安定を図るためには各党に対しても虚心坦懐に協力を求め、国民の期待にそう方針をとることゝなった、また特別国会の召集はできるだけその時期を早めたい意向で、今後の政局ともにらみ合せ、具体的な日取りについては政府民主党連絡会議を開く予定である、しかし民主党は第一党を獲得したとはいえ、衆院の過半数勢力には相当数不足しており、安定政権の樹立は望み得ない情勢にある、従って明一日ごろからは自由党を初め野党各派に政局収拾、特別国会召集について協力を求め、場合によっては与野党■■■談を提唱することになりそうである

これに対し自由党は民主党からの切崩しを極度に警戒すると共に来るべき特別国会では既定方針どおり緒方総裁を首班候補に押し立てて鳩山総裁と争い、敗れたのちは完全野党の態度で国会に臨む態度を固めている

岸幹事長談

選挙の結果わが……るとは間違いな……収拾の責任は……が明らかだが、……わが党としては……題にふれる段階……が、責任政治の……のためにはお互……協調しあうこと……第一党だからと……しいまゝにする……たくない、鳩山……実にして明るい……との強い希望を……

開票の成績
正午現在
和数字は定員、洋数字は候補者数、左は社会党左派、右は同右派

岡崎（前外相）、加藤（元労相）両氏落選

"大物"続々返り咲く

大野伴睦氏（岐阜）最高点

共産両氏（志賀）（川上）当選す

金光氏落つ
重光、一万田氏当選

石橋、戸塚氏楽勝す

正力氏初陣に勝つ

党派別当選者数
28日正午現在 当確者も含む

党派	計	新	前	元	うち婦人
民主（124）	134	13	73	48	0
自由（180）	78	3	58	17	0
左社（74）	55	9	43	3	0
右社（61）	47	8	31	8	2
労農（5）	1	0	0	1	0
共産（1）	2	0	1	1	0
諸派（7）	2	0	2	0	1
無所属（4）	4	1	1	2	0
計	323	34	209	80	3

【注】党名の下のカッコ内は解散当時の議席数

東京都
（以下、各区の当選者・得票数）

神奈川縣
確七一九一三 林 博 民前
確五六五七六 島村一郎 民新
確五二一二八 島上善五郎 左前
三三二五〇 天野公義 自前
三三八〇〇 新井京太 民元
二八九五〇 山口シヅエ 右前
二三六二五〇 真鍋儀十 民元
一六七〇〇 茅野直好 右新

一七三一五 山本次郎 民元
一四八四〇 名天光光 民元
一〇五八九 ■■国利 自前
一〇二八一 ■■秀一 右新
九六七五 ■■あや子 労新
七三三三 ■木 操 民新
六七五六 ■野みつる 共新

宮崎縣
◇第一区（三—12）
当四九〇一六 片島 港 左前
当三九〇四四 川野芳満 自元
当三八六三九 相川勝六 自前
◇第二区（三—8）
当三五一九七 伊東岩男 民前
当三四四一八 小山長規 自元
当三一一二三 瀬戸山三男 自前

佐賀縣
◇全県一区（五—12）
当五六一六五 保利 茂 自前
当五四二二四 八木 昇 左新
当四八三五七 井手以誠 左前
当四六九八九 真崎勝次 民元
当四二九四一 大坪保雄 自新

長崎縣
◇第一区（五—11）
当四八五三九 木原津与志 左前

◇第三区（三—7）
当四五六三二 渡辺元三郎 民新
◇第四区（四—7）
当七九二九五 濱瀬一郎 民元
当六〇七六一 大西正道 右前
当五九一一九 河本敏夫 民前
当三四一四九 小畑虎之助 民元
◇第五区（三—6）
当四八五三三 佐々木良作 右新
当四二一六一 有田喜一 民前
当四〇八二三 小島徹三 民前

富山縣
◇第一区（三—7）
当五八八〇六 三鍋義三 左前
当五四一五二 松岡松平 民元
当四八二一三 佐伯宗義 民前
◇第二区（三—5）
当六七二七三 松村謙三 民前

◇第一区（五—8）
当四五七八四 亀山孝一 民新

新潟縣
当四八八一三 内藤友明 民前
当四八四三八 正力松太郎 無新
◇第四区（三—5）
確四四九六六 田中彰治 民前
確三五〇三五 塚田十一郎 自前

石川縣
◇第一区（三—6）
当八二一九三 辻 政信 民前
当五三一七九 徳田与吉郎 民新
当五〇四九七 岡 良一 右前
◇第二区（三—7）
当四九三八〇 益谷秀次 自前
当四五一五九 大森玉木 民元
当四二〇四〇 南 好雄 自前

國民審査
池田最高裁判事
解任賛成 ……
解任反対 ……

岩手縣　秋田縣　宮城縣　青森縣　福島縣　北海道　愛知縣　岐阜縣　大阪府　京都府　兵庫縣　滋賀縣　三重縣　和歌山縣　奈良縣　熊本縣　鹿児島縣　福岡縣　大分縣　山口縣　岡山縣　広島縣　愛媛縣　香川縣　鳥取縣　島根縣　福井縣　滋賀縣　埼玉縣　山梨縣　静岡縣　千葉縣　群馬縣　茨城縣　栃木縣
（各区の当選者・得票数）

歓声あがる民主党本部（前列右から大麻、三木（武吉）河野、三木（武夫）岸、鶴見、千葉、北の諸氏）

粋人酔筆
出過ぎたものは
福田蘭童

一枚の汽車の切符を手に入れるために裏口からタバコを渡したり、一杯のコップ酒に倍額を払ったり、一斗の白米を求めるために、大事な晴衣を渡してしまったあの日、あの頃の悪習もいつの間にか流れ去って、今では逆に景品つきのサービス時代となってきた。

特に水商売ともなれば、そのサービス精神がなければ客はソッポを向いてしまうから必死になって呼びこみをかける。水増しの酒ではないと強調し、美人が侍ってご座るとショッパイ声を張りあげる。そうしなければ水増しでないビン詰めを公定価で買い、梅干し女房を前にして湯豆腐かなんかを突ッつきながら"なんといっても我が家ほどいいものはないサ。少し酸っぱいのを我慢しさえすれば、何もかも安あがりのダイジョービ"なんてケロリとされてしまう。これでは水商売人もアガッタリである。常にケロリがゲロリと濁って店先へ客が転げこんでくるようでなければ儲けにはならぬ。そこで、一にサービス、二にサービス、三にサンビスときて、四ツン這いになってでもお世辞をいおうというのが近ごろの給仕精神なのである。しかし出しすぎると折角、舞い降りてきたカモも、落ちつきを失って、飛びたち、あとにはネギの匂いのようなイヤラシさを残す結果にもなるから心しなくてはなるまい。

ある日、映画の仕事の打ち合せで、東映の本社へ行った。そのとき若い女優の高千穂ひづる君も、同じ仕事の打ち合せに見えていた。ところが、肝心のプロデューサーの都合で二時間ほど遅れることになった。その間、コーヒーばかりをガブガブ飲んでいるのも大人気ないので、外国映画を見ることを思いたち、高千穂君に、

『忙しいので映画も見る暇がなくて弱っているんだ。幸いに二時間ほど間があるから映画でも見てきようじゃないか』

と、話しかけると、

『そうネ。シネマ・スコープでも見ましょうか』

てなわけで、相談が一決し、都心地まで出かけていった。さて、入場券を買う段になると、妙な気おくれがしてきた。

—御婦人同伴だから、特別席の指定券を買うべきが常識だ。しかし顔を見知られている高千穂君が中年男と一緒に映画館へ来ていたなどと噂されると、とんだ迷惑をかける。こっちは光栄だが相手の人気にさわると気の毒だ。いっそのこと、一般席の方が無難であろう…。

と、ひとり決めにして入場券を買った。一番安いヤツである。そして、待っていた高千穂君に、

『特別席は満員で、一枚の切符も無いそうですよ。気の毒だが、一般席でガマンして呉れ給え…』

そういって入場したのだが、案の定、どこもかしこも満員であった。次の替りまで待つわけにもいかないので、一番前の方へもぐりこんで立見をすることにした。画面が大きいので見苦しくはなかったが、立っているのはつらいことだった。特にハイヒールをはいていた高千穂君が気の毒でたまらなかった。しかし場面がクライマックスに達するにつれ、足の方の感覚は薄れて、首から上の方へ重圧がかゝっていった。ヴォリュームのある音楽、強烈な色彩、猛烈なキスの音…いささか興奮を感じていると、私の手をキュッと握りしめたものがある。高千穂君は私の前に居るのに妙であると思っていると、こんどは軽く引っぱった、それでも黙っていると、

『どうぞ、こちらへ ひらっしゃいませ・二階の特別席が、ガラあきですから、高千穂さまと御一緒に、おいで下さいませ』

あたりの人にも聞こえるようにいった。びっくりして、その方を見ると女の案内人が伸べ首をしていた。折角、高千穂君の人気を気づかって行った芝居が、とたんにバレてしまい、言訳のつかぬ格好になってしまった。これが、もしも恋人同士だったら、どうであったろう。おそらく、映画館を出るなり、ハイヒールの足でドテッ腹を蹴とばされた挙句、「ハイチャイ」の一声を残して、そのままになってしまったことだろう。

【写真は高千穂ひづる】

東京株式中値
□新株 ☆配当落
（28日前場終値）

銘柄	値
特定銘柄	
東海上	327
郵船	—
新三菱	102
日清紡	—
味の素	—
三越	278
平和不	396
三井金	112
三菱鉱	98
日鉱	87
住友金	110
三菱鉱	50
古河鉱	80
同和鉱	114
住友炭	72
三井山	67
北海炭	64
東邦亜	62
日石	94
帝石	70
昭和石	88
大協石	179
東燃	137
三菱石	95
日東化	73
日産化	70
三井化	103
東合成	96
信越化	76
昭和電	107
東高圧	107
昭電工	72
日本曹	74
旭電化	80
三菱造	80
三菱重	73
石川重	107
神工	147
東洋ベ	121
三井造	113
日立造	47
浦賀	51
日平	35
古河電	76
東芝	73
三菱電	103
日立製	80
小松製	77
日本光	173
東京光	45
キヤノ	145
日電金	186
東洋紡	136
鐘紡	136
大日紡	84
日東紡	63
片倉	39
富士紡	106
呉羽紡	—
東邦レ	102
帝国麻	70
中央繊	57
帝人	122
東洋レ	159
三菱レ	120
倉レ	80
三菱	88
旭化成	291
山陽パ	91
日本パ	87
国策パ	92
東北パ	109
大東紡	88
商船	59
三井船	57
飯野海	51
西武	375
藤田興	218
東京ガ	84
東電	462
日銀	2000
東銀	87
三井銀	—
富士銀	87
日証金	109
大正海	102
住友海	117
安田火	126
千代田	—
鋼管	75
日製鋼	83
八幡鉄	67
富士鉄	62
神戸鋼	72
日特鋼	147
日金鋼	59
日セメ	135
小野田	84
磐城セ	273
横浜ゴ	200
旭硝子	142
富士写	118
小西六	111
カボン	58
三井物	172
第一物	161
白木屋	235
高島屋	84
日活	86
松竹	200
東宝	1260
大映	174
日清粉	152
日麦酒	160
朝麦酒	178
キリン	201
宝酒造	90
野田醤	361
日本粉	124
昭和産	79
東洋醸	93
合同酒	92
三楽酒	78
台糖	195
明糖	113
日水産	73
日甜糖	148
大阪糖	141
森永	268
明菓	160
王子紙	194
十条紙	213
本州紙	93
三菱紙	97
北越紙	53
三井不	838
三菱地	525
三井倉	103
渋沢倉	125
東洋埠	—

市況
人気好転模様
週明けは刻々入る開票状況に注目して全般に動意良好の場面だが、民主党の優勢を得えて人気は明るく、市況は閑散のうちにも底堅く、特定株は買物薄の折から日東が引続き海上を一万二千株買ったほか

総値にマバラの買物が見られて、一、二円方小確り、雑株は依然大部分が三円内外の小動きに止まっているが、民主党の第一党は確定的と伝えられ再軍備促進の期待が金へン株に買気が動いて小締っているのをはじめ全般に底固い商状

▽高い株 東寳十円、白木屋六円、住商五円
▽安い株 日鉄鉱、東亜紡、服部五円

内外抄
◇戦いに勝った鳩山さん、チャーチル首相を真似てVのサイン。まさに生涯の最良の日。
◇汚職も乱闘もさほど響かず、鳩山ブームに浮かされて自由から民主へ票が流れただけ。
◇民主党に春が来たが、夜半に嵐の吹かぬものかわどころか、これからも嵐の吹き続け。
◇投票日に引ッ張られた候補者は公明選挙の面よごし。村八分にし別荘で静養して貰おう。
◇池田裁判官の国民審査に意外、切られ与三のような刀キズ。思想検事の古キズの祟り。

お知らせ 本日選挙開票記事輻輳のため小説「浅草の鬼」休載、「財界春秋」は明日掲載します

声援の八年間

王女たち（の）ブギの女（と）夜の純愛物語

瓦礫の巷に希望の灯

彼女らの励みとなった笠置さんのメロディ

舞台へ体を張った花束の雨

華やかな舞台の脚光を浴びる歌姫と、蛾のように群がるファン…ありふれた風景であり、たとえそこに何かのエピソードがあったとしても、夜の巷に明滅するネオン的な淡い話題でしかない、ファンの心理は、昨日より今日を、今日より明日を追う儚い"あこがれ"の心理である、しかし、こゝに一つの不思議な物語がある、"ブギの女王"笠置シヅ子さんと有楽町界隈に立つ夜の女たちの八年間にわたる温く固い結び付きがそれだ、ありふれたファン心理を遥かに超越して、いまもなお燃え続ける愛の火…一方は花形の名利から離れ、一方は文字通り身体を張って、お互いが心と心の真実を燃やした明るい話である、そしてそこには、一口に"人情"とだけではいい切れない不思議な火影が、人知れずゆらめき輝く、せゝこましいこの世の中に、こんな物語があるのを知ることができるのは、まだわれわれが不幸でない証拠であろう—

○…思い出す人が多いかも知れない、敗戦の翌る年廿二年…物心二つの傷手から癒え切らない人々は、虚ろな表情で街々をさまよった、買出しとヤミと肉体の門、それだけがすべての暗い社会だったみじめな絶望とあてどない不安、そんな陰鬱さが全国に漂った、このとき、その陰鬱を吹き飛ばすように流れた軽快なメロディ、あの心弾む"東京ブギ"である、笠置シヅ子さん独得の開けっ拡げた歌いっぷりは、たしかに沈み込んだ人々の心に、希望とはいえないまでも一つの救いを与えた、映画風な描写でいくなら、こゝで場面が溶暗して…まだ瓦礫のなかにヤミ市が立並ぶ有楽町、街の灯のとゞかないガード下、そこに佇むほの白い夜の女たちの姿を浮べよう

「女はいゝさ、土壇場になれば売れるモノを持っているんだから」そんな世間の冷めたい言葉を浴びながら、彼女たちは彼女たちで、人並みの、いやそれ以上の苦しさを持っていた、空腹と疲労感に襲われて、客をよびとめる力の出ない姿も多い、考えることは、やはりこれからの身の行く先きである星の流れに占うだけではすまない生きる苦悩がある、そんなとき、ヤミ市から流れてくるメロディが"東京ブギ"だった、生きよ卑屈になるな…カタコト〜と胸の扉を叩くようなブギである

ここで場面はまた暗転する、華やかな日劇のステージ…歌いまくり跳ねる様に踊りまくる"ブギの女王"笠置シヅ子、彼女が現れると観客は胸のつかえがおりたように歓声を浴びせた、そのとき、観客席の最前列から、一団の女たちが花束を抱えてどっと舞台に駈け上った、一目でそれと判る女たちである、ブギの女王と夜の女、奇妙な取合せに観客は目を瞠り、それから騒然となったが、笠置さんは温いほほえみで、その花束を受け取った、苦労人の笠置さんには、彼女たちの花束がどんな代償で求められたか、贈る方と贈られる方の、心ににじむ何かがあった

○…「あのときはほんまにうれしくて、勿体ない気持でした、何千円もする花束だっしゃろ本当に身体を金に代えた花束なんです、一本一本の花が、あてに何か訴えているようで…あんな商売の人たちだからと、そんなこと何も考えまへん、たくさんのファンの方のなかでも、それとは違った純粋なものがあることを知りましてんね」

笠置さんは、当時を思い起してこう語る、その後、彼女たちは笠置さんの舞台とあれば必ず最前列に頑張って声援をおくった、いまでも日劇で語り草になっているこんな話もある、笠置さんの出演が午前十一時からとなっていたのを都合で遅延した、さァ納まらないのが最前列に陣取った華かなファン連である、七十名もいただろうか持ち前のイキのいゝところで、腕まくりの形相すさまじく事務所に押しかけた、「笠置さんを舞台に出せ」という強談判である、あのときほど恐しかったことはないーと、日劇関係者の伝説？になっている、以来、彼女たちの熱烈さを認めた日劇では、最前列が空かない場合、補助椅子を提供した、拍手だけでは納まらない彼女たちはその補助椅子をぶつけ合って、拍手がわりにしたそうだ、その当時彼女たちは自分たちだけの希望を築くために"白鳥会館"の建設を計画していた、洋裁やタイプなど技術を身につける厚生施設と憩いの場所を設けようというのだ、稼ぎのなかから幾らかずつ積立て、土地も予定し、各方面の支持も多かった、ところがあと一歩というところで、計画は無残に崩れ果てた、折角買い集めた材木が台風で流れたというのだ、真相は、会計係の若い青年が積立金をさらってドロンを極めこんだらしい、落胆以上の怒りが、込み上げたが、彼女たちにはその持って行き場がない、せめて笠置さんの歌を聞いて鬱憤を晴らすのが落ちだった、ちょうど笠置さんはエノケン劇団に加わって有楽座に出ていたところ、笠置さんもまたひそかに彼女たちの胸の中を察していた、できることなら手助けを…とは思っても、自分たちのことは自分たちだけで始末しようとする心意気を汲んでやることも、また本当の友情だと思い直した、舞台がはねて笠置さんは楽屋を訪れた五、六人と親子丼を食べ合った、人を信じることのできない無情に苦しむ彼女たちに親子丼の味は一しおの人懐しさをそそった、エノケン氏も居合せて、教えるともなく語った

「君たちね、言葉づかいを直せよ、仲間同士ならいゝけど、人前に出て負けずにやろうとするなら言葉から改めるンだな、言葉が人間の考え方を作るし、それを現わすンだよ」

笠置さんも「あてに花束を贈ってくれるのはうれしいけど、自分たちで生きることを考えなあかん」

無残な"白鳥会館"の夢にも
溫い心の支え
樂屋でエノケン氏も鞭撻

"叱られても大好き"

遠隔の地から未だに続く声援

感慨無量、愛情の絆

笠置さんを囲んで語る佐藤さん（中央）江戸川さん（右）

○…「あれから八年の付き合いだっせ、あてが歌手生活に入ってから廿何年、そのうち八年というのはずい分永いもんですわ、もうたゞのファンじゃおまへん姉妹みたいな気持になってしもてー」

第一生命ホールでの公開録音が終った廿五日夕方、きょうも訪れたかつての"娘御"佐藤さんと江戸川さんに囲まれて、笠置さんは嬉しそうに笑う「ほんまにいろんなことがありましたなァ」

と大阪生れのお米さんこと佐藤さんは感慨深い「甘いもンに困ったところでしたあて、エイ子を抱てまっしゃろ困って困って、そんなとき街でこの人たちに会うと、黙ってチョコレートをポケットに押し込んでくれたもンです、あンときは涙が出るほど嬉しうおました」

そのエイ子ちゃんの誕生日にはみんなが出し合って大きな人形を担ぎ込む習慣になっている、この間の誕生日がそうだ、もう部屋一ぱいになって、置き場がない…と、笠置さんはまたうれしい悲鳴を笑いにかえる、彼女たちが貸間探しに困るとき、笠置さんが保証人になってやる、「笠置シズ子を知ってるンだよ」そう聞かされて半信半疑の小母さんを、彼女たちは笠置さんの家へ連れて行く、「よろしうお願いします」笠置さんはいつも丁寧に頭を下げるのだったー八年前、七十人もいた仲間も、いまは半数が堅気になって地道なそれぞれの道を歩いている、なかにはアメリカに渡って幸福に暮している者もいる、そのあとは北海道に行っても、大阪に行っても、笠置さんを追うように八年前の声援が変りなく送られる

「私たちも負けない気だけど、笠置先生もそうなんです、よく叱られます、どんなに叱られても、私たち笠置先生の言葉は一番こたえます」「好きなんです」

それは理屈抜きなんです、どこまでもすがりついて行きたい」

"あこがれ"を越えるもの、人の心と心が結び付く不思議さがそこにある

「愛情に飢えてるンです、この人たち…」

笠置さんのポツンと放った一言でそれはいい尽されるのかも知れない

美人揃いの 神田パリス

海外だより

最新の避妊薬

避妊用丸薬として知られている化粧へスペリデン（ヴィタミンP即ちシトリン）は蜜柑の皮から容易に製出せられるが、昔は解熱剤として使われていたものである、この丸薬はボストン大学のシーブ博士の唱導したもので、男女共に用いる必要がある、男は一日三回女は四回服用する、しかも十日間は服用しなければならない、かくて血液が飽和されるのである、同博士の三百組の男女に対する研究ではこの避妊は永久的なものではなく、その中の百廿三組は服用をやめて妊娠している、この研究は十七歳乃至四十三歳の女に対して行なったが一つの例外もなかった最短の避妊期間は九十日、最長は卅ヵ月だった、この薬を四十八時間服用しないと効果…ら、避妊も妊娠も…うのである、これは…が卵細胞の外皮を…の侵入を不可能に…いわれている

瓦版

男娼に追い回される男

都電山谷停留所から泪橋に向って左側の中間辺、横丁角のS食堂で通称"オジサン"と呼ばれている五十男、映画の斎藤達雄に瓜二つの渋い好紳士？で商売は露店のネクタイ売りだが、このオジサン、なんでも以前は大阪で相当鳴らしていた実業家の成れの果てだという噂しきりしかも転落の動機というのが四年前に大阪で起った迷宮入りの男娼殺人事件でその重要なカギをこのオジサンが握っているといわれる、それかあらぬか彼氏その道の達人と自他共に許しており、いつも廿歳台の美男子数名に追いかけられ通し、その中には三島由紀夫の男娼小説のモデルになった某君もいるという始末ーこのオジサンに逢いたいご仁は前記S食堂の主人に何気なく訊けば教えてくれる

助手台でカモを探す女給

二、三日前の深夜一時過ぎ椎名町駅付近で七十円の中型を拾ったところが、助手台になかなか乙な年増がプンプン熟柿臭い息を吐きながら乗っている、油袋で下りたところ、この美人助手？も一緒に降りて馴々しくついて来る二、三分経ったころピタッと傍に寄り、手をギュッと握って「あたし今夜遅くなっちゃって家へ帰れないんだけど"ご一緒に泊りませんか"と誘われ」付近の㊣を利用したがお値段は馬鹿みたいな格安さ、別れ際にマッチを一つくれて「この店にいるの、遊びに来てネ」というので見たら椎名町四丁目の某飲屋のマッチだったが「これも宣伝よ」とニヤリ笑った目付きが堪らなかったとは某経験者の話

新橋にある「お色気酒蔵」

新橋西口の"T"酒蔵は大衆向きでパシン族が夜更けまでたむろしているが、その二階が料亭になっている、一階と違って値もちとハズムが、いずれも廾過ぎの百戦練磨？の女性が、十五、六人いてサービスしてくれる、ところがキャバレーなみに"チップ制"となっているので彼女たちは"ご指名"の客獲得にやっきとなってお色気サービスに余念がないということだ、二、三回も通えば冗談もホントになるとは体験者の述懐だが、何せ相手が純情可憐とは凡そ縁の遠い女強者だけに話も判りがよい筈、年増女のもうれつなお色気放射能で活力を得たい方は一度二階へ上ってみることです

モダン歳々記

小児誘拐事件

一九三二年（昭和七年）三月一日の夕方、アメリカ、ニュージャージー州ホープウェル…

…万ドルの身代までせしめられたのだが、あゝ、それなのに帰ってきたのは無残な屍体だったのである。

一九三四年九月、その犯人としてハウプトマンという男が逮捕された。併し証拠不十分で死刑執行も幾度か延期となって、デマはデマを生んで、彼を死刑にすればリンドバーグ大佐夫妻の生命も危いといわれたが…リスへ逃げたがギャングの本場だけにスケールも大きい世紀の誘拐事件であった。（鮭）

あすの運勢

三月一日　高島象山

▲一月生—何事も静かに黙然として稼業に努力して無事社交に注意
▲二月生—勇躍して発展の道を開く技倆を発揮して努力せよ旅行吉
▲三月生—万事に不意の障害を受け易い或はけがあやまち有り易い
▲四月生—万事寒り損失迷惑あり易い殊に身内の事で心配あるなり
▲五月生—何事も人気あり信用を増し利達発展あり上位の引立あり
▲六月生—物事相反し相違い失望損失ある神経をとがめることあり
▲七月生—自己の思い違いより失敗あり気慢剛情を殊に注意すべし
▲八月生—何事も順調に発展し利達あり社交的のことに人気あがる
▲九月生—思いもよらぬ難事を引き起すことあり慎重に進退すべし
▲十月生—内外共に不安起り気迷い心動いて自ら失敗を招く注意
▲十一月生—何事も融和向上し稼業繁昌あり就職縁談は調い目的叶
▲十二月生—急変起り不安来り易い進退に注意し他意なく稼業守れ

風流世界譚

……（日本）……

戦後十年、乱れた風潮の中で成人した生え抜きのアプレ・ガールとでもなりますとボーイ・フレンドの間を蝶々のように飛び回って、解放された青春を享楽しています。その典型的な娘さんの一人が、康子さんで、一時に一人のボーイ・フレンドで満足してはいられないといった御乱行の果てが、とうとう大きなお腹を抱える身となって、友人間でも噂の種。「康子さんどうやら赤ちゃんが出来たらしいのよ」「あら、あたし誰の子供だかちゃんと知ってるわ」「そんなら教えてあげなさいよ。彼女、判らなくて困ってるのよ」てんで、おせっかいな友達が注進に及ぼうとしていますと、そこへ康子さんの方からやってきました。「ねエ、康子さん。貴女の赤ちゃんのお父さんはKさんじゃなくって」とヤマをかけられた彼女、平気な顔をして、「Kさんでも誰でもいいわよ。あたし、どうせ来月は結婚しちまうんですもの」という返事に友人の方がタジタジ、「まァ、誰と結婚なさるの？」と訊ねますと、「何て名だったっけ？　ちょっと待ってね。いま名刺を探してみるから」

浪人街道（82）

木村荘十　野口昂明画

抜荷買（一）

啓之助は、巾二…

…後にして、奪っ…

…さァさァ、命の安い奴は出て来…

…下げたまま云った。

相手は、怪しい若衆と、狂斎の…

…げる姿が、小さくなっていくのを…の向うに見ながら、啓之助を遠巻きにしたまま動かなかった。

命の安い奴など、まったく、安い手で、命を捨てては馬鹿らしい。

…れると、こんな時にも打算をするらしい。

"ヒントを与え…

「誰か出る者はないか」

大兵の男は、舌打ちした。

「意気地のない。こういう風に斬るものだ。見て置け」

その男は、大刀の目釘をしめして、のっそりと、前へ出て来た。

「おい、偽町人、名を名乗れ、いい残すことがあれば聞いておいてやるからな」

「そういう貴様は誰だ」

「本所で知らぬ者のない剣道の先生　北辰一刀流の達人」

啓之助は笑った。

「笑ったな」

ラジオとテレビ　28日（月）

時	★NHK第1★ 590KC	★NHK第2★ 690KC	★ラジオ東京★ 950KC	★日本文化★ 1130KC	★ニッポン★1310KC
6	00 ❶子供のシンプン❷音楽物語『トロイカ』 25 『我党はかく進む』	00 医学の時間 福田邦三 30 やさしい科学『科学クイズ』小貫章	05 『選挙後の経済の動き』 25 バイバイ・ゲーム 55 スポーツ・タイム	00 四党幹事書記長座談会 30 劇『すずらん太郎』 45 スポーツニュース	00 劇『ポツポちゃん』 20 選挙特集 討論会『第一党に望む』
7	00 ニュース・天気予報 15 録音ニュース 30 録音構成『新しい政界の誕生』	00 名曲鑑賞 アーメンの幻想 解説 松平頼則 30 若い女性のつどい 隈部英雄 山主敏子ほか	10 録音ニュース 20 朗読『浮雲』杉村春子 30 四つの明星 楠木繁夫 三条町子 青木光一ほか	00 録音ニュース 20 ものまねコンクール 市村俊幸 横森良造 三浦洸一ほか	00 ラジオ夕刊 20 今日もまた 十朱久雄 30 ❶漫才『仁義はおどる』千太・万吉❷落語 右女助
8	00 三つの歌 司会 宮田アナ 30 お父さんはお人好し アチャコ 浪花千栄子他	00 ニュース 03 全国当選者発表ーリレー放送ー	00 四党代表座談会 石井 岸 和田 浅沼の諸氏 30 タレント・スカウト 河井坊茶 青葉笙子ほか	00 ❶上方漫才 文代・静代❷落語『貝の村』文団治 30 劇『照る日曇る日』市川中車 永井百合子ほか	00 ハローハロークイズ 司会 テディ・中村ほか 30 大学勝抜歌合戦 司会 奥田アナ 洋琴 山内謙一
9	05 ニュース解説 村田 15 政治座談会 40 声をそろえて 仲谷昇 メイコ 荒井恵子ほか	00 名作劇場『椿説弓張月』筑紫の巻 小沢栄 松本克平 稲葉義男 横森久 浜田寅彦 東野英治郎他	10 銭形平次捕物控 腰抜け弥八の巻 滝沢修ほか 35 落語『鍋屋敷』柳家小さん	00 愛のこだま 藿原邦子 芦野宏 香椎くに子ほか 30 民謡浪曲『狐の仇討』玉川勝正 春日藤輝	00 座談会『政界地図と今後の政局』阿部真之助他 30 クイズ『歌の二人三脚』西島芳二 新井達夫
10	15 のんきタクシー 内海突破 並木一路 金語楼 40 風流歌草紙 幸子ほか	00 ❶初級英語 梶木隆一❷上級国語 増淵恒吉 45 気象通報	15 劇『新撰組』永井智雄 30 座談会『政界新天気図』鱸山政道 岩淵辰雄ほか	00 英文和訳 岩田一男 30 解析（1）戸田清	00 劇『裸一貫』滝沢修他 15 落語『授業中』歌奴 35 晴れの当選者第一声
11	10 世界をつなぐ 20 ❶明日の話題 ❷随筆	00 納税対策あの手この手 国税庁長官 平田敬一郎	00 ニュース・天気予報 10 開票特報	00 総選挙当選議員名簿 30 シヤブリエのピアノ曲	15 選挙悲喜交々の玉手箱 40 ファンレター古賀政男

テレビ　★NHKテレビ★ 6・00 仲よしニュース　6・10 劇『横丁の大将』　6・30 特集座談会 山浦貫一ほか　7・15 ❶短編・海の動物❷映画『遥かなる戦線』

★日本テレビ★ 6・00 政局討論会『次期政権をどうするか』　7・30 座談会『政局はどう動く』長谷部忠　池松文雄　高橋雄豺ほか　8・00 衆院選挙全国当選者紹介　9・00 今日の出来事

あすの番組

8・05 名演奏家の時間	8・00 療養の時間近藤宏二	7・20 十分論評阿部真之助	8・25 劇『ミナモトさん』	8・10 劇『おとこ大学』
8・30 江戸時代の風刺雀郎	8・30 大作曲家の時間	8・05 歌のない歌謡曲	8・45 今日もよい子で	8 45 お好み歌謡曲
9・15 今月のプラン	9・15 学校放送 国語・音楽	8・35 劇『花のゆくえ』	9・00 昔の歌今の歌	9・00 劇『サザエさん』
9・45 青いノート 木崎豊	10・00 学校放送『小学校低学・中学・高学年の時間』	9・05 チヤツカリ夫人	9・30 療養の時間阿部達夫	9・45 リード集 荒牧規子
10・05 けさの話題松宮克也	11・30 生活の科学湯川秀樹	9・45 想い出 矢野目源一	10・10 たのしい童謡集	10・00 きんぴら先生青春記
10・15 私の伴侶 岸輝子	12・30 食後の音楽	10・00 名作『金色夜叉』	10・40 劇『君ひとすじに』	11・00 連続劇『胡椒息子』
11・15 私の本棚白き処女地	1・15 交響曲の時間	10・45 医学の扉 美甘義夫	11・00 歌の花籠伊達純子他	11・45 歌謡物語上原げんと
12・30 小咄横町 丹下ほか		11・05 腹作我輩は猫である	11・35 劇『東京の人』	12・00 漫才クラブ 洋容他

七彩のネオンの下に夜開く大学…

女子プロレスショウ

川崎駅前『ブルー・バード』

安く飲ませる有楽町『クリッパー』

ロマンチックなバー　浅草田原町『山小屋』

國民審判下る　明るい顔に渋い顔

総選挙の結果は午前中にほとんどが明らかになった、雨の開票日の廿八日、圧倒的な民主ブームで予想通り第一党は民主党が きのうまでの自由党にとってかわり、午前中早くも二百名に迫るという景気のよさ、これに反して自由党のシブイ顔、左右両社の"案外だった"面持ち、「吉」と「凶」の飛電が雨中に乱れ飛んで刻一刻、明暗の政界新地図は描き上げられていった、これは喜びと、悲しみと"選挙は水もの"の表情アレコレー

この朝にこにこ顔で調髪する鳩山さん

シブイ顔の緒方さん、けさ私邸にて

たゞもう上機嫌！　鳩山邸　早くも次の組閣構想

◇民主が第一党にノシ上ったこの朝の鳩山邸、鳩を画いたステンドグラスに朝の光が白々と差しこむ、シケ模様の激しい風と雨が広い邸内を吹き荒れる、午前六時すぎ鳩山さんが目をさました、早速指圧師を呼んでベッドに寝たまま朝のマッサージー「第一党は間違いなしです」の報告に新聞も読んでいない鳩山さんは「思ったよりいいな」と落着いた第一声を放った

◇顔を洗って服を着けた鳩山さんは今度は理髪師を呼んで散髪にとりかかる、気持よさそうにじっと目をつぶった鳩山さん「なんとしても一百人はとりたいね、けさ迄のところは自由党の地盤で残念だったところもあるがきてくれ"てくれ"といわれてたゞだからもう少し歩けばよかった」と語り乍も ニコ〳〵とあけっぴろげな笑い顔で上機嫌、押えても押えても笑いがこみ上げる、最後にまた「二百人はとりたいな」と呟きながら食堂へ

◇朝食を済ませたのは九時すぎ早くも「先生、ワシも当選しました」と「カムバック」した大物、大久保留次郎氏が飛込む、やがて岸幹事長、根本、三木、松村、千葉の党首脳が続々つめかける、二階の書斎で早くも第二次鳩山内閣の組閣工作にとりかかった、窓の外の音羽の高台にもなおも激しく風雨の音が高い

緒方さん　わが醜態を笑う

自由党の退潮目立ったこの朝、品川区五反田六の四五九の緒方総裁私邸「ねむれましたか」の問に「夜中の十二時ごろまでラジオを聞いていたンだがね、あまり敗色濃厚なンでね、くさって寝ちゃった、腹背に敵というところか、僕はね百七十から百八十とふんでたンだ、第一党になっても鳩山君は憲法改正はセンだろう、それより君、自由党が社会党両派とせり合うなんて実際醜態だね」

「落目ですな」といえばすこし考えて、「まあ、敗軍の将、兵を語らずというところだね」ずっと立ち上って土砂降りのなかを党本部へー

松岡君に変ったのが慰め　淋しい加藤勘十氏

右社の大物元労相加藤勘十氏（東京二区）は同僚の松岡駒吉氏がトップで当選という華々しさに食われてついに落選、この朝十時目黒区小山の自宅で目がさめたトタンにラジオがピンチを告げたので御機嫌頗る斜め、再びのそのそとベッドのなかへ入り込み、駈けつけた記者団にはノーコメントだったが、正午大森の事務所にポンテを乗りつけた、中央の椅子に落着いた同氏は恬然とみひらいた大きな目を速報板に向けたまま開口一番「不徳のいたすところ」とつぶやけば脇から五、六人の家の子郎党憤然たる面持で「新聞やさん、まだ落選というのは早いぞ」とギョロリとこわい目が光ったが正午ごろ落選がきまる

松岡君が 当選して まあよかった、彼は前回落選しているので同情票が集っているのですよ、左社との話合いがつかず二区で革新系が三名も立候補したのがたたったんじゃないか、いや、そんな弁解がましいことはいいたくありませんヨ」とさびしそうだった

武吉老大いに笑う　民主党本部の表情

○…第一党の喜びに明けた港区芝桜田町の民主党本部には、十時五十分一万田、大麻両氏が姿を現わし「第一党の感想は？」の質問に、「雨降って ー!」をはり上げるお目出とうの握手を交しながら三階の会議室に消えた、十一時半、密談の終った幹部連は寄贈の祝賀ビールを満々とつぎ、岸幹事長のかけ声で「民主党万歳」

○…十一時過ぎ三木武夫、河野一郎、岸幹事長、総務会長、政調会長など在京幹部が続々と現われ、お目出とう、ところサ」と二人とも満面に笑顔

○…二階の事務室ではこの間地図まったといったと「ドーン、ドーン」と勝名乗りをあげる大太鼓がこだまして、いつも渋い顔を見せている三木武吉氏もカメラマンの「もう一回笑って」という注文に何回でもニコニコ応じていた、会議室に飾られた鳩山首相の等身大の着色の写真も「与論は民主党を支持した」といっているかのよう

○…岸幹事長も、白い目玉のダルマさんに墨汁をたっぷりつけた筆で「国民が民主党の第一党によって政局を収拾してもらいたいということなのサ、次の追だったが、いま報いられた」と大きな目玉で「百廿名突破ー!」などと報告する事務員の声を、嬉しそうにきいていた【写真 ダルマに眼を入れる岸幹事長】

帰国者雨の東京入り　断然多い子供連れ

雨の品川駅頭に第十次帰国船興安丸で去る廿四日舞鶴に着いた、中共帰国者九百四十九名の内東京関係百五十六名、東北関係百卅四名を乗せた東舞鶴発上野行臨時列車は総選挙開票でゴッタ返す廿八日朝九時五十六分品川駅に到着したドッとわく歓声、夢にまでみた肉親の呼ぶ声、迎える人も迎えられる人もいつもの如く喜びと涙で顔がクチャ〳〵になる

カメラさげたパリッとした姿

九番線ホームに列車が滑るように入ってきた「列車がとまるまで危険ですから近寄らないで下さい」とスピーカーの制止声ももどかしげに、出迎えの家族が列車を目ざしてどっと押しよせる、手に持った日の丸小旗や名前を大書した幟が大きく揺れる、デッキから降りる、引揚者の顔々、どれもこれも近親者を求めるまなざしはくい入っているようだ「岡田はいませんか、岡田さん」と身動きも出来ない人ごみのなかを夢中で肉親を探す老婆の姿が印象的だった

今度の引揚者は技術者が多く、中共でも生活程度が高かったといわれる、服装は背広服が目立ち、また工人服でも上等の羅紗製のものを身につけ、肩からはカメラを下げている人が多く、女性は一きわ目立つ、赤や青のセーターがチラホラ、セーターに紺のズボンといったスマートな少年の姿がこれまでの引揚者とは違ってうり、向うでも生活程度の高さを示しているようだ

とりわけ子供の引揚が多く列車の約三分を占め、はじめて見る父祖の国、車中大喜びだった

このうち身寄りのない帰国者百廿四名は都差し回しのバスに分乗、大森、常盤、千歳、上野の引揚者ホームへ向いそれぞれ東京第一夜を迎えたまた関東以北関係八十二名は上野駅から上野発列車で故郷に向かった

【引揚げた押川さん一家】

亡夫の形見と共に　戦い続けた菊川さん

亡夫菊川忠雄氏の跡を継いで立候補した菊川君子さんは中野駅前の狭い粗末な選挙事務所で初当選の報に「最後まで岡崎さんと当落を争って心配でしたが、二千票の差がついた時はもう安心だと思いました」と喜びの色はかくしきれず苦戦のあとを物語る油気のないカサカサした乱れ髪をかき上げた

当選の感想は？ に君子さんは涙を浮べながら懐中からお守り袋をとり出して「この中に亡夫菊川が洞爺丸で遭難当時つけていた議員バッジと、菊川からプレゼントされたブローチが入っています、この守り袋を立会演説でヤジられると思わず握りしめ心をしずめたものです、当選は私たちの力ではなく菊川と二人連れだったからだと思います演説は初めてで最初のうちはなれないのでアガって立往生しましたが…とにかく一年生議員なので代議士のイロハから勉強していきたいと思っています」と語った

亡夫のあとを継ぎ当選の菊川君子氏

狸が穴から出たよ　最高点 廣川和尚、破顔一笑

世田谷三宿の和尚広川弘禅氏宅は刻々知らせるラジオを真中に一族郎党がギッシリ詰めかけてゴッタがえす、玄関横の部屋で広川氏はドッカと例の大火鉢前にあぐらをかき、十時すぎ当確との報に破顔一笑、「これでやっと狸が穴から出たよ、二年も冬ごもりしていたんだからナ、ハハハ…」といって立上り床の間の達磨に久々の開眼をほどこした「こんどははじめから大丈夫だと思っていた」といったものの、ようやく"陽の当る場所"に出た嬉しさはさすがにかくすことはできず「おめでとう」とつめかけた近所の人や家の子郎党のお祝いの言葉に狸の顔はエビス顔に化けていた

久しぶりの"陽の当る場所"にバンザイの広川和尚

深川で選挙違反二件

深川署では廿八日朝東京六区民主党真鍋儀十候補の運動員江東区深川住吉町二の二五豆腐商大塚達男(五〇)と、自由党天野公義候補の運動員江東区深川永代二の五建築業小久保千太郎(四八)の二名を公選法違反の疑いで検挙した、調べでは大塚は近所の有権者十数人を戸別訪問、真鍋候補の投票を依頼するとともに、さる十日江東区内の某所に同業者その他廿数名を招いて供応した疑い

二千六十名を検挙　28日まで　選挙違反戦後最高

警視庁は廿八日開票後の選挙違反取締り状況を発表した、それによると廿八日現在までに検挙したものは千百八十一件二千六十六名、これをもっとも違反の多かた廿七年十月選挙の同期にくらべると件数は二百卅九件増となり戦後の最高記録を示した

南千住で一件

南千住署では廿八日朝荒川区日暮里七の一八九無職山中ぶん(四七)を供応の疑いで検挙した、調べでは山中は無尽講に名を借り会員十数名を招き東京六区自由党天野公義候補に投票を依頼するため供応したもの

新宿 賣春宿二軒急襲　女中ら九名現行犯で検挙

警視庁保安課衛生係では廿八日朝六時半新宿区三光町 四九 飲食店「江戸家」＝経営者絹引とら(三七)＝同「竹仙」＝経営者渡辺三代子(三七)＝方二軒を急襲、絹引と渡辺を婦女管理と場所提供で「江戸家」の女中山本博子(二〇)ら女中五人と客四人を売春現行犯で検挙した

信号燈から転落　電線ドロ昏倒

廿八日午前一時廿分ごろ国電鶯谷ー日暮里間の電車信号塔に登って電線約十三メートル(時価七千円)を切っている男を巡回中の鉄道公安員が発見、騒いだところ男はあわてたため塔から辷り落ち昏倒、近くの中央病院に収容したが精神性ショックで意識不明、労働者風所持品はなく上野公安室で身許を調べている

今朝の地震

廿八日午前二時ごろ関東地方の一部に弱い地震を感じた、震度は東京二（軽震）横浜一（微震）熊谷零（人体に感じない）で、中央気象台では震源地は東京湾北部ではないかとみている

婦人が服毒

廿七日夜十時ごろ品川区東品川四の一六無職香島美弥子さん(三七)は自宅でブロバリンを飲んで重体、家庭不和から

練馬でも青年

廿八日朝七時廿五分ごろ練馬区関町二の七二会社員甲斐田義之さん(二二)は自宅でブロバリンを飲み豊島医院に収容されたが重体、家庭不和からしい

電報配達装う　覆面強盗　杉並

廿七日夜九時五十分ごろ杉並区下高井戸四の九八一会社員石井愛さん(四二)方に電報配達をよそおってハンカチで覆面した若い男が侵入短刀で金を出せと脅したが騒いだため何もとらずに逃走した

造花屋の火事

廿八日午前四時廿分ごろ葛飾区小谷野町二五四造花業渡辺正治さん方から出火、木造平屋住宅五棟八世帯五十坪、同工場一棟廿坪を全半焼した

板橋で住宅

廿八日朝十時四十分ごろ板橋区志村三の二五無職長山秀雄さん方から出火、同家木造平家住宅一棟十五坪を全焼、隣家の栗田化学工業所工場廿九坪を全焼して同十一時ごろ鎮火

あすのスポーツ

△スキー　全日本選手権（札幌）△競馬　大井（十半時）

独眼灯

○…選挙にいたずら投票はつきもの、開票結果と共に読み上げられるイタズラの中間発表を行うと…

○…圧倒的に多いのが鳩山さんで得票数に比例して「ハトポッポ」だの「豆鉄砲のオジさん」などがある、宇都宮徳馬氏にはウツケモノトンマ、原彪氏や鈴木仙八氏のことを"独眼竜"とかくところを"独眼燈"と書いた本紙愛読者？もあれば…

○…名前をちぢめて加藤勘十氏がカトカン、野村専太郎氏がノムセン、婦人候補者には「愛するシヅエさん」＝山口シヅエさん「厳粛なる事実」＝松谷天光光さんがあるかと思えば「君の名はお菊さん」とい菊川君子さんの場合には「君の名はお菊さん」といったのが目立っていた

中村メイコに似た女性コンテスト

○…コンテストばやりの折からこれは中村メイコに似た女性のコンテストが廿八日午前十時から雨にもめげず選挙でごったがえす銀座サービス・センターで行われた

○…当選者は松竹で撮影中のメイコの原作・主演「ママ横をむいてて」に出演できるとあって何と二百卅名が応募、これを写真審査のフルイにかけて残った五十名のお嬢さんたちは、メイコ、その両親、中原淳一氏など審査員の前でポッと上気してニヤニヤそわそわ

○…「ママ横をむいてて」じゃなくて"応募者さん横をむいてて"やら"こっちむいてて"と熱心に審査していたメイコ審査員「アラー、そっくりだわ、スゴク似てる、イヤダナー」に満場爆笑という賑かなコンテスト風景だった【写真はメイコに似た女性のコンテスト風景】

今日のバンド

渡辺晋とシックス・ジョーズ　レイモンドコンデとゲイセプテット　新宿三丁目 コタニ楽器店（二階）　JAZZ・COFFEE セントルイス

【大井】

第四回大井競馬（八王子第一回）は三月一日から六日間午前十時半発馬で開催される

△八王子記念(四日ー二千四百米)出走を予想されるものはアサクニイチ、サチホマレ、オパールオーキッド、スウホイスト、ディープリバー、ニューモアナ、モリマツ、オールウエザー、トシハヤの諸馬最近の成績からはアサクニが最も強く、この距離でも引続き好調を保持しているので結局逃げ切ることになろう、オパールオーキッドの地方復帰後の成績は香ばしいものでないが、もうそろそろ鋭鋒を発揮してもよさそうだ、入着圏はニューモアナとオールウエザー

△アラブ特別(一日目ー千八百米)このレースに参加する馬はオマタドロップス、クニノハナ、シークル、タイカン、ダイイチヨシマサフクオー、ホウランド、ヨーカ、ホースニュースなど、脚力が伯仲しているので波乱も予想されるが実力的にはオマタドロップス、タイカンが中心、ホースニュースは地方入り後見るべき成績をあげないが、ここでは惑星として注意を要する（松本）

エムさん　石川進介

続 情炎の千代田城（42）

岩崎栄　寺本忠雄画

お花見（八）

そよかぜが、笛や太鼓のしらべを伝えてくる。

山あり、谷あり、流れもあれば畑もある広大な吹上、山里の到るところに嬌声が湧きおこり、歓声が渦を巻きかえして、花見のうたげはすでにたけなわだった。

将軍お成りー　これをお迎して御台所のいる茶屋に案内すると、絵島はすぐに引返してまた、お三ノ丸左京のお方を迎えて、これは池ノ端の茶屋に案内した。

花の精が、人間になって歩き出したようにあでやかな左京の方に続いて、世子鍋松君を抱いた女中、お乳の人、宮路以下のお中老、小姓、部屋子ーと、この一行は御台所のそれよりも遥かに大勢で、きらびやかに賑わっている。

内緒百人に余るといわれたほどにも、女色漁りに絶倫な家宣の後宮である。左京は別格としても、そのほかに家宣の胤を産んだお部屋さまが十指にあまるほどもいるのだった。

右近の局。これは一ノお部屋と呼ばれ、町医者吉田宗庵というものの娘、若君を一人産んだが幼逝した。

新典侍の局。これは京の公卿の息女で、これも若君二人までを産んで悉く死亡。

水の尾の局。甲府家の臣の娘で、若君を産み死亡。

新典侍の局。おすめの方といって、まだ家宣が甲府宰相のころ、若君大五郎を産んでいるが、これも（亡）

こうした第一流の美女が、それぞれに、今日という日を書き入れの盛装をこらした侍女何十人かを引きつれて、各部屋々々を繰り出して来たのだから、梢の空の万朶の花も、地上に乱れ咲く、人間の女に圧されて色を失うばかりの美観を展開しているのだった。

一年一度きりの無礼講である。将軍お成りと雖も、今日ばかりは一さい御免。礼にかまわず飲食歌舞勝手たるべしとなっているから花の梢にかけ渡した小袖ぶすまの内側では、そこでもこゝでも、唄う、踊る、笑う、泣く、腰が抜けたのや、酔い潰れてころげ回るのや、喧嘩するのや、駈け回るのや…時刻の流れとゝもに、乱れ狂う怪しいまでの色彩と喧噪は、まったくもって言語に絶した光景と変って行く。

池の汀には船が浮かんでいる。色彩をこらした竜頭の屋形舟である。

将軍が、左京の方をつれてこの船に乗る。船は池の中心に漕ぎ出される。

やがて鼓の音が冴えて水を渡る。鼓をうつのは左京、立って舞うのが将軍である。

絵島はホッとして、自分の詰所に立ち戻った。独りだった。今日のこの桜狩りに、三千人の美女のうちに、たゞ一人、浮かれてもいなければ酔ってもいない絵島なのだ。

湯殿に湯をたてさせると、部屋子も、お末のものも、お半下までも花に解放してしまった。

端然と座って、眠っているもののように両眼をとじている。

そうして、小半刻も経ったであろう。

「お見えにござりました」

美容利が障子の外から声をかけた。

「おゝ、待ちかねました。これへー」

障子が開いて、そこに思いもかけぬお静の姿だった。

一ときも前に思いついて、急使を出していたのだ。

「美容利、たいぎであった。そなたもいまから遊んで来やれ」

美容利までも出してやって、さて、

「お久しぶり」

「まことに、久しくでぶさた致しまして」

『聖林プロ』の裏面を探る

映画界の好景気に乗って大小の独立プロの興亡は絶えないが、こゝにまた「聖林プロ」という名の一独立プロが誕生し数々の波紋をまき起し出している。従来の常識から考えれば、せいぜい一本分の製作資金でも用意して発足すれば独立プロとしては先ず上の部類とされており、従って一つや二つのプロダクションの興亡など映画界にとってはそれほどの影響もないというのが通り相場なのだが、何故こうもこの「聖林プロ」が正式発足以前に話題を投げかけるのか?、以下その裏話を探ってみるー

田中絹代　藤田進

「由起子」映画化権獲得
″にんじんくらぶ″と接近はかる
主役に有馬稲子を交渉

噂の中心「聖林プロダクション」の社長小林清氏は現在新橋「S」「G」赤坂「M」などのキャバレーを経営している、映画界にはズブの素人だが、それだけに現金はうなるほど持っているという評判の人、彼をかつぎ出して映画界に乗り出させたスタッフは、元新東宝系のプロデューサー伊藤基彦、篠勝三、望月利雄、それに元新映プロ専務小坂隆文の諸氏でいずれも″やり手″をもって聞えた映画界のつわ者ぞろいである

目下最大の関心の的となっているのはこの「聖林プロ」が久我美子、岸恵子、有馬稲子の三大人気スターをかゝえている「にんじん・くらぶ」に猛烈に接近をはかっていることで、すでに第一作に予定している「由起子」の主役に有馬稲子をマーク、交渉を始めている

大体この「由起子」は原作者菊田一夫の了解の下にすでに中央映画（社長伊藤武郎）で津島恵子主演今井正演出で製作と発表されているものだが「聖林プロ」では菊田の師匠サトウ・ハチローを通じて映画化権を握った模様で、これに最も早く「由紀子」の映画化権を獲得したニッポン・プロ（代表山田典吾）とも手を握り、新東宝配給の場合は佐分利信監督が五所平之助監督を、東宝配給の場合は山本嘉次郎監督の線をうち出し、中央映画との競作をも辞さないと意気ごんでいる

一方中央映画では四月製作開始と発表しながらもまだ主役予定の津島恵子に対しては一言の申入れも行っていないなどというずさんな点もあり、伊藤社長も「競作となるならば作りたくない」と一部に洩らしている

これに対して「聖林プロ」側の製作担当者小坂プロデューサーは「私の方は単独製作の立てまえで菊田さんの了解を取っている主役の第一候補には有馬稲子、それに岡田英次、池部良、淡路恵子、安西郷子などの線を予定している、しかし中央映画が製作を断念した場合は話が別になってくる」と自信満々だ、そこで当の有馬稲子に「由起子」競作の一件をきいてみると「あれは今井先生がおやりになるんでしょう、それと競作したってねえ、わたしはとても出演する気はしません、それにまだ正式にお話はきいていませんし香港から帰ってのことですね」と語っている

津島恵子　有馬稲子

「胸より―」も狙う
中堅スター抱き込みに成功?

中央映画側の津島もすでに日活「花のゆくえ」に入り、これが終ると新東宝「リオの花嫁」でブラジルへロケーションする予定となっており、四月にはとても身体が空きそうもなく、そんなこんなでこの由起子合戦″トンビに油アゲ″の譬えどおり「聖林プロ」が獲得するということもおこりそうだ

また同プロではにんじんくらぶ代表若槻繁氏個人に対する資金面でのバック・アップも申入れている模様で、若槻氏が第一回プロデュースする作品「胸より胸へ」を提携作として共同製作に持込もうとしている、というのが同作品は当初東京映画との提携で演出は久松静児監督、主演は有馬稲子と内定していたものだが、有馬が再三交渉されていた東宝との再契約をしぶったことから東宝の横槍でこの製作が一時中止され、最近ではにんじんくらぶ自主製作に切替えるという動きになっている、こうなると問題なのが資金面及び監督で、目下のところ田中絹代を口説いているが未だ彼女のOKが取れず、一頓挫という状態になっている

一方「聖林プロ」の伊藤基彦プロデューサーは田中監督と前々から一本製作するという約束もあり、また田中絹代は旧松竹時代から小坂プロデューサーとも友好関係にあるので一足先に田中監督を獲得し、その点から「にんじん・くらぶ」を口説いて「聖林プロ」の提携に持込もうという作戦を進めている

また一方では藤田進と契約を結び他にも中堅スター二、三の抱込みに成功したともいわれている

おしゃべり横丁

広島に原子炉

石油コンロも満足に買えないってのに…

ー原爆犠牲者

若い芽　中川晴彦 ⑦

宝塚映画

浅草の老舗天ぷら「N」の若旦那なんだが、やゝもするとその七光りをあてにしている「僕の家、浅草の″N″なんです一度来て下さい」など甘えたような頼るような調子で口説くからつい浅草へ足を向けるということになる、そこで天ぷらと酒で″ブラッ″としたら、これが汚職ということとなんだネーと某監督がいっていた、実際にそんな甘い気分だから彼、中川晴彦なる俳優はいつまでも芯が一本欠けているといわれるのだ、もっとしっかり映画というものを考え直して新人らしく演技に情熱をささげることが、彼の芽をのばす唯一の方法と悟らなければ長い寿命はなかなか保てるものではない＝本名中川貢＝

深緑夏代KRテレビ専属決る

ラジオ東京のテレビ放送はあと一カ月後に迫り鋭意陣容を固めているが、先般来の技能試験で残った専属テレビ・スター廿一名（女十三名男八名）中五名が身体検査に引かかったので更に選考を重ね近く決定の上、一応俳優座に委託研究生としてあずける予定である

なお今度のテレビ開始と共に宝塚歌劇の声楽専科出身でかつては越路吹雪とコンビで三枚目風な演技をみせたアルト歌手で、最近はシャンソン畑でも漸く頭をもたげてきた深緑夏代が三月一日付でラジオ東京の専属と決定した、深緑は今度宝塚歌劇団のハワイ行きにも参加せずその去就が注目されていたもので、深緑の新入社によってラジオ東京テレビの専属歌手は越路吹雪、笈田敏夫、柳沢真一、黒田美治と共に五名となった

【写真は深緑夏代】

名選 都々逸　石井きんざ選

誰が見てよと私にゃ見えぬ　見えるはあなたの顔ばかり　高崎・五十嵐源太郎

長距離電話であなたのお声　無事かと嬉しい思いやり　保土ケ谷・星崎　宗俊

泣かされながらもやっぱりそばを　離れられなくしたあなた　墨田・良　坊

二度も三度も振り向く別れ　も一度抱きたい曲り角　船橋・今井ちさと

雨が宵から変った雪に　女房と早寝の久し振り　長岡・鈴木六可仙

◇

旦那から長距離電話がかかって来たら　姐さん泣いてるすねている　選者

ロケは花ざかり ⑳

馬肉以下の″トッカリ″
酬われなかった「蟹工船」のB班

一 昨年四月八日、日本水産、日魯漁業、大洋漁業三社から成る船団は五千トンの東慶丸を母船として戦後初めての母船式蟹漁業に函館を出港、アラスカのブリストル湾へ向ったが、これに現代ぷろ「蟹工船」（演出山村聰）のロケ隊B班牛山邦一カメラマンと助手が乗込んでいた、すでに水産庁の許可はとってあったが三社にウンといわせるまでには随分難航した、何しろ小林多喜二の原作では、昔の蟹工船の出稼ぎ作業員は″タコ部屋″のような虐待ゴウ問をうけたことになっておりそんな映画を作られたら人権蹂躙の今日何にも知らぬ映画観客に誤解される怖れがあるというわけだ、そこで水産庁が仲に入り、現在の蟹工船の忠実な記録映画を撮ってそれを劇映画と対比させればいいではないかと妥協案を出し、会社側でもやっとOKした

B 班の任務はそういうわけで記録映画の飛入りと、函館、勝山、清水と各地にロケやオープン・セットで撮っている本隊A班のために実景を撮って

海外 来ることで、雪に蔽われたアラスカ半島、ウナラスカ島のマクシン山（富士山に似てさらに高い活火山）″トッカリ″（オットセイのこと）ウミガラスなどの動物、母船の両舷に四隻ずつ吊った五十七トンの川崎船の上げ下ろし、また南方で発生した台風が北上してそこで消滅するため″台風の墓場″といわれ年中波の高いベーリング海の荒海それに作業状態、起床、就寝などを、電報で本隊と連絡をとりながら撮っていたわけだ、漁場では一本二五〇反、テニス・コート式のさし網を平行に幾重にも張りそれにかかった蟹を母船から出た川崎船の群が日に四、五回往復して捕って帰る、ほかに母船より先発したトロール船が底曳き網をひっぱって、産卵のためにブリストル湾岸近く押しよせる鰈の大群をゴッソリさらうのだが、たまにはオットセイやアザラシがひっかかる、捕っちゃいけないのだが、網にかゝって弱ったやつをロケ隊もご相伴で食った、牛山氏によれば「まずくってね、まあ馬肉より落ちますよ」という話、うまいのは漁夫が″オヒョウ″と呼んでいる四尺四方位の大ヒラメで油の乗ったサシミはこたえられないそうだ

漁 期は四月半ばから七月一杯までで、とても四ヵ月もいられないから、ロケ隊は水産庁の監視船に乗りかえ、アリューシャンの鯨、鮭、鱒の漁場を通りさらに北大の練習船に乗り継いで帰って来た、全航程約一万浬、これほどの長距離ロケは劇映画では類がない、ともかく映画「蟹工船」は撮影賞を貰ったが、賞はA班のカメラマン宮島義男氏に対してだった、撮影隊のB班とは常に苦労多くして酬われない貧乏クジなのである（終り）

「蟹工船」ロケ隊B班の足どり

シベリヤ　アラスカ　ベーリング海　カニ　クジラ　サケ.マス　函館

はと笛

▽…松竹の「亡命記」及び「東京香港蜜月旅行」の野村芳太郎監督以下、佐田啓二、岸恵子、有馬稲子らの一行が空路羽田を出発した晩、見送りに来たスターの中で久我美子と雪代敬子の二人は大の飛行機嫌い

▽…日航機の隣りにエール・フランス機がいるのを指して一人が久我に「ねえ、この次はあれでパリに行かなきゃ」というと彼女「それが駄目なのよ、木星号の一週間前に日航に乗ってからスッカリ恐くなって…船にも酔うし」と弱音を吐けば、傍にいた雪代が「あたしもそうなの、天国って空にあるんでしょ、やっぱり私地面にピッタリくっついて走る汽車の方が安心だわ」に周りの連中一斉にクスクス

【写真は雪代敬子】